

【抄録】

災害発生時の危機管理体制は災害対応を経験するたびに、改定されてきており、国や地方自治体のマネジメントの下で迅速かつ効率的に連携をもって支援を実施する体制となってきました。災害時の保健医療においても、より組織的に災害発生初期から保健医療支援への介入が期待されており、全国的に保健管理と共通化した評価方法も導入され、JDAT(災害歯科支援チーム)も設立されています。この中で対応が求められる時のために、基本的な仕組みや制度などは理解しておきたいところです。

一方で、災害時の対応は、直後の「支援」だけでいいのでしょうか？本来は、もっと継続的なものであるべきですが、それを可能とするのは普段からの地域保健医療のマネジメントでしかないと思います。特に歯科技工士が関わる観点においてどのようなことが求められるのか、具体的に考えてみたいと思います。